

事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
多田 英博	0人	香川県木田郡三木町	経営継承に向けた法人化	H30年度 伴走支援3回(内専門家派遣3回) R1年度 伴走支援3回(内専門家派遣2回) R2年度 伴走支援1回(内専門家派遣0回)

相談内容・現状課題

■相談内容

相談者は肉用牛の生産・販売を家族で行っているが、今後は、本人、妻、後継者(子)の家族3名で、農業法人を設立し、2～3年をかけて、一定の経営基盤を確保した後、後継者(子)へ経営を継承したいので、専門家や関係機関の支援を受けたい。

■現状課題等

○相談者は、肉質を重視した、黒毛和種の繁殖・肥育の一貫経営を行っている。
○本人は飼育管理に従事する傍ら農外就業もしていたが、30年6月末をもって農業に専念することとなった。
○子は繁殖・肥育牛経営の農業法人に就職し、飼育技術等の習得を行っており、家業の後継者として準備中。
○妻は認定農業者となり、飼養管理のほか、簿記や青色申告など経営管理も担当。
○これまでの県農業会議、普及組織等による簿記や決算書を活用した経営改善の支援、法人化講習会への参加等により、法人化の下地はできている。
経営継承を前提とした具体的な法人化への支援が必要。



相談所の支援体勢・伴走支援チームからの改善提案(問題解決方法)

■支援内容

法人化して経営管理を徹底し、信用力を高めた上で、規模拡大を順次行い、経営基盤を確立させ、子への経営継承につなげるという経営戦略を決定した。

当該経営戦略に従い、税理士、司法書士を中心とした支援チームを編成し、具体的な支援を進めた。

①法人化計画書の作成(担当:税理士)

法人化の目的を再確認した上で、事業内容、株主、資本金、役員などの検討にあたっての助言や財産の引継ぎなど関係諸制度等への対応等を整理した。

②規模拡大(担当:税理士)

移譲者の意向確認を十分行くとともに、財産評価などを慎重に行っていくこととした。

③個人からの財産の引き継ぎ(担当:税理士)

牛をはじめとする資産毎に、補助事業、税務面に留意しつつ検討するとともに、制度資金の活用に向けた公庫資金の手続きへの対応を整理した。

④設立登記(担当:司法書士)

役員の責任等を整理するとともに、定款の作成など設立登記に向けて支援した。

⑤認定農業者等(農業経営相談所事務局)

8月1日の認定を目指すべく、経営改善計画の作成支援や、飼料用米・耕畜連携などに伴う経営所得安定対策の承継手続きなどを整理した。

支援の成果・その後の状況

■支援の成果・その後の状況

7月18日に法人設立登記し、その後も個人決算、財産の引き継ぎ等を支援したほか、役員報酬額の設定や社会保険加入手続き等を支援した。

相談者は「後継者への円滑な経営継承や就業環境整備を目指し、これまで以上に経営を見直す必要があった。融資など資金の確保を考える上でも法人化のメリットは大きい」、また、「積極的に規模拡大に動いているが、畜産は土地の確保が難しい。公庫などの融資・支援を活用しながら徐々に拡大していきたい。また、税理士など専門家と相談しながら、経営の改善を進めていきたい」としている。



■コーディネーター所感

はじめに相談者にとって法人化することが適切かどうか再確認した上で、計画的に進めるとともに、専門家、関係機関が連携、役割分担し、進めることができた。後継者を交えた相談を含め、相談者が法人化への理解を深め、法人化することができたと思われる。また、相談者はこれまで関係機関等による簿記・青色申告支援などにより、計数管理がしっかりしていたこともスムーズに法人化できた要因といえる。今後も引き続き、決算書を基にした検討等により経営状況を適切に把握し、規模拡大、後継者への経営継承に向けて、支援を継続していく